

じょう れい ほう ざ 定 例 法 座

2025・7・16(水)



暑さ厳しい中ようこそのお参りでございました。この度は正信念仏偈を皆さんとご一緒におつとめさせていただきました。



久しぶりに院主・若院揃ってのおつとめ。今年の1月はインフルエンザ、5月は带状疱疹にならぬ法要に出られなかった院主さん。まだ千ク千クするそうですが、元気にしております。やはり元気に揃ってのおつとめは有難いものです。



この度は初、座談会形式の法座です。先ずは若院の法話。皆さんでおつとめした正信念仏偈についてのお話でした。そこからお経本の扱い方の説明へ。改めてみるのも良いですね。



お経本の扱い方に関連して
血染めのお聖教のお話も。教
えを守るために腹を搔っ捌い
て隠した僧侶もおられました。
命がけで守られた教え、お経
本、大切にしたいですね。

その他、お仏壇のお荘厳に関して、お経に関して、講・御頭講に関し
て、お寺の堀の線について、歴代門主に「如」が何故ついているのか、等
たくさんのご質問いただきました。皆さんも初めて聞くお話もあったり、
質問に答える側も改めて勉強になることもあつたので、いつもと違ったこ
んな形式の法要も今後良いかもしれませんね。



聞くことは恥ずかしいことではないと若院も申しました。蓮如上人も
聞く大切さを説かれています。皆さん御同朋御同行、仲間です。些細な
ことでも聞くは大切です。皆さんでみ教えをきかせていただきましょう。

本日の当番は、青木さんと小林さん。小林さんが挨拶してくださいま
した。法座の後は皆さんと軽めの懇親会。いつもありがとうございます。